

秋を代表する植物「芒」(すすき)。秋の七草の一つであるの芒は身近に見られる植物です。花穂が開くと真っ白な動物の尾を思わせる形になるため、「尾花」(おばな)とも言います。また「袖振り草」(そでふりぐさ)とも言われます。秋風に揺れる姿が袖を振っているかのように見えるからでしょうか。古来、袖を振るしぐさは、思いを寄せているというメッセージでもありました。とても風雅なネーミングですね。ここで名句をひとつ紹介します。

をりとりてはらりとおもきすすきかな 飯田蛇笏(いいだ だこつ)



さて、後期に入り、すぐに第三回定期考査、大変お疲れ様でした。納得のいく結果であればよいのですが。しかし、どのような結果であっても前向きに捉えることが大切です。自分はどこにつまずいているのかが明確になるので、次はそれを克服するのだという目標が生まれます。

目標があること、それに向けて取り組める環境があること、あたり前のようなことが実はありがたいこと、に気づいていただければと思います。

自転車を押し行く二人花芒 幸恵

